

渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の 流失防止対策【国土交通省】

施策概要 河川の氾濫に伴う橋梁の流失、河川隣接区間の道路流失等を防止するため、橋梁・道路の洗掘・流失対策や橋梁の架け替え等を推進

効果 橋梁・道路の流失による長期間の通行止めを防止し、迅速な復旧・復興に寄与

全国的な対策と効果

対策1 全国において渡河部の橋梁の洗掘・流失対策を実施



護床ブロック散乱・流出



護床ブロックによる洗掘対策

対策2 全国において河川に隣接する構造物(道路等)の流失対策を実施



豪雨により隣接する河川が増水し、道路の一部が流出



道路流出対策を実施

5か年加速化対策の効果

直近の大雨と過去に大規模な被害をもたらした同規模の降雨による流出・冠水被害の比較

① 国道42号山田橋	【H30.9台風】	護床散乱・流失	→	【R5.6大雨】	流出被害なし
② 国道49号(福島県いわき市)	【R元.10台風】	道路流出、通行止め	→	【R5.9台風】	流出被害なし
③ 国道13号(山形県尾花沢市)	【R2.7大雨】	路面冠水、通行止め	→	【R6.7大雨】	冠水被害なし

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
265億円	144億円	364億円
R6	R7	累計
391億円	279億円	1,443億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



効果発揮事例

道路の流失・冠水対策により、 大雨でも安全な交通を確保する



国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所



山形県尾花沢市



国道13号流失防止対策

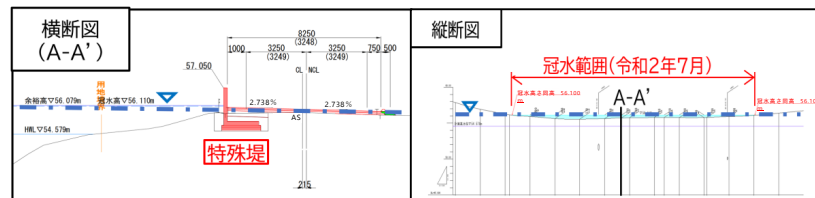
■ 国道13号への特殊堤の設置



令和2年7月豪雨により冠水



道路沿いに特殊堤を設置



■ 事業費

1.5億円 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1.5億円)

■ 事業の背景(地域の課題)

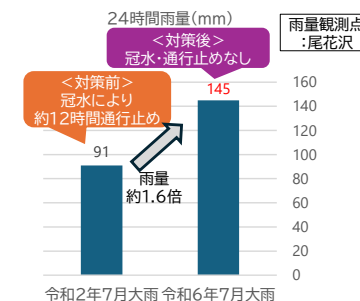
山形県尾花沢市の国道13号は、地域の安全・安心な暮らしや経済活動を支える上で重要な幹線道路であるが、河川と隣接する箇所において、越水による路面冠水が発生し、長時間通行止めとなりました。

■ 事業の内容

過去に冠水が生じた山形県尾花沢市内の国道13号において、河川と隣接する道路で流失・冠水の危険性が高い場所に、河川からの越水を防ぐ・特殊堤を設置することにより、道路流失及び冠水による被災を防止し、道路交通を確保します。

■ 効果

山形県尾花沢市内の国道13号では、令和2年7月豪雨により一部路面が冠水しましたが、5か年加速化対策として特殊堤設置工事を実施したところ、令和6年7月大雨では過去の災害以上の豪雨であったにもかかわらず、冠水を防止し交通を確保しました。



(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

2 インフラの老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化